

■連結損益計算書（要約）

2014年3月期第1四半期における連結売上高は、前年同期比、**29.8%増**となる**907億円**、営業利益は、**198.1%増**の**161億円**、経常利益は、**269.6%増**の**170億円**となりました。子会社のセガにおいて、固定資産の売却を行ったことから、特別利益を**33億円**計上しております。四半期純利益は前年同期比で**416.0%増加**し、**129億円**となりました。

当第1四半期は、前年同期比で増収、増益という実績になっており、先般公表いたしました上期の計画に対しては、経常利益並びに四半期純利益が第2四半期連結累計期間の連結業績予想値に達しておりますが、当期は第1四半期に主力製品の販売を見込んでいたことから、現時点で業績は計画に沿って推移しており、業績予想修正の必要がある場合には速やかに公表いたします。

■各種費用等の実績

コンシューマ事業及び遊技機事業を中心に、前年同期比で研究開発費が増加しております。設備投資額につきましては、韓国・プサンにおけるリゾート開発に関連した土地の取得を行ったことから、前年同期比で大きく増加しております。減価償却費においては、遊技機事業における新工場の稼働が2012年9月開始されたことを主要因として、前年同期比で増加しております。広告宣伝費については遊技機事業において主力タイトルの販売を行ったことなどを主要因に、前年同期比で増加しております。

■連結貸借対照表（要約）

流動資産は、有価証券の増加(短期資金運用)の一方、現金・預金の減少等により、**290億円減少**いたしました。固定資産は、釜山土地取得や投資有価証券の増加により、**190億円増加**いたしました。その結果、2013年6月末における総資産は、前期末に比べ、**100億円減少**の**5,185億円**となりました。純資産については、**138億円増加**の**3,338億円**となりました。自己資本比率は、**63.6%**となり、引き続き、健全な水準を堅持しております。

■遊技機事業

遊技機事業の実績ですが、前年同期比で、売上高は**53.7%増**の**518億円**、営業利益は**139.7%増**の**187億円**となりました。

パチスロにおいては、主力タイトル『パチスロ北斗の拳 転生の章』を販売したことにより、前年同期比で約**2万7千台増**の**10万8千台**の販売となりました。

また、パチンコにおいては、大型タイトルの販売は無かったものの、タイヨーエレクトリックブランドの『CR 火曜サスペンス劇場』をはじめとした、各タイトルの販売が堅調だったことにより、前年同期比で約**4千台増**の**2万8千台**の販売となりました。

上期の見通しですが、パチスロ・パチンコともに複数のタイトルを投入し、販売台数を増加させる計画となっております。

■アミューズメント機器事業

当第1四半期においては、大型タイトルの販売が無く、売上高は前年同期比**18.1%減の68億円・4億円の営業損失**となりましたが、期初の見込みに対しては堅調に推移しております。

上期の見通しですが、大型の新作タイトルにつきましては、下期を中心に投入する計画となっているため、前年同期比では減収・損失計上を計画しております。

■アミューズメント施設事業

売上高は、前年同期と同水準となりましたが、若干営業損失を計上しております。

国内アミューズメント施設既存店舗の売上高は、前年同期比**92.5%**と低調に推移しました。

前期にグループ内の施設事業を統合したことから、今期より既存店対象店舗を変更しており、また、店舗数につきましても、国内におけるゲームセンターの直営店舗のみ対象としております。

国内施設においては、**1店舗**の出店、**2店舗**の閉店を行った結果、第1四半期末での店舗数は、**201店舗**となっております。

上期の見通しについてですが、引き続き運営力強化などにより、各店舗の収益力の強化を図ってまいります。

また、セガとBBCが展開する自然体験型エンタテインメントパーク『**オービィ横浜**』を8月19日に開業致します。

■コンシューマ事業

売上高は、前年同期比**26.2%増の188億円**となり、営業損益においては、**15億円**の営業損失を計上した前年同期から、若干の営業利益を計上し、黒字転換となりました。

パッケージ分野では、『**カンパニーオブヒーローズ 2**』などの販売を行いました。

また、デジタル分野につきましては、引き続き『**ファンタースターオンライン 2**』が好調で、『**ぷよぷよクエスト**』が2013年7月24日に300万ダウンロードを突破するなど堅調に推移しております。

玩具事業及びアニメーション事業においては主力製品・タイトルが堅調に推移いたしました。

上期の見通しでございますが、

パッケージ分野においては、9月に、欧米向けタイトルとして『**トータルウォー ローマ 2**』の発売を予定しております。

デジタル分野では、『**ファンタースターオンライン 2**』のアップデート版、スマートデバイス向けタイトルの強化を図ってまいります。

また、玩具事業においては、定番商品の取組みを強化し、アニメーション事業においては引き続き、映画・テレビシリーズの新作を中心とした事業展開を行ってまいります。

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。

従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって、大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。